

真狩村



思いが伝わる「真狩×大豆×高校生」のポスター

「わが村は美しくー北海道」運動第9回コンクール応募団体

## 北海道真狩高等学校

### 【真狩村】

「村をもっと元気に！」野菜スイーツで高校生が取り組みます

#### はじまりは？

真狩村は、農業を基幹産業として発展してきた純農村です。真狩高校は有機JAS認証圃場で農業を学ぶ「有機農業コース」と、製菓衛生師の受験資格を取得でき、野菜製菓の開発を行う「野菜製菓コース」がある村立の農業高校です。

村の課題として人口減少問題、観光入込客が低水準、雇用が少ない等があります。そこで全国でも珍しい野菜をスイーツにするパティシエを目指している高校生が主体となり、商品開発や食育活動等により「村をもっと元気に！」と立ち上がりました。

#### おもな活動

真狩村の道の駅に高校生カフェ「La mikka」を設置し、商品開発から販売までを行っています。自分達で育てた野菜や村で採れる野菜を使って、加工したスイーツやパンを販売しています。昨年から地元の豆腐屋と農家の依頼でオール真狩産の野菜と豆腐を使った豆腐ピザを開発し、販売しました。また、地元小学生と大豆の文化を次世代に伝える「大豆100粒運動」を行い、大豆を栽培し、ソイスweetsのブランド化を手がけています。



地元小学生と大豆の栽培

ケーキ屋のない村で、スイーツの販売、お菓子作りの教室等により、その成果を村へ還元し、地域活性化に取り組んでいます。

「野菜スイーツで村を元気に」を合い言葉に高校生パティシエが村の活性化に取り組みます。

#### ここが自慢

##### 【野菜スイーツで村を元気に】

今まで野菜がほとんど使われることの無かったスイーツ分野で、高校生が主体となり商品開発から販売までを小学生、生産者、役場等が携わり、村全体で地域特産物を作り上げながら、道の駅で高校生カフェを運営しています。作物栽培の基本を学ぶとともに、野菜を素材とするお菓子作りから、素材の特性を見極められる「素材のわかるパティシエ」を目指しています。



大豆等が入った野菜スイーツ



高校生カフェ La mikka 道の駅で販売

#### 連絡先

代表者名：青木 保繁校長／設立：1948年／会員：98名

住所：虻田郡真狩村字光6

電話番号：0136-45-2357

F A X：0136-45-3514

E-mail：makkari-koukou@makkari-school.jp

URL：https://www.makkari-hs.com



余市町の美しい農村景観を創出するぶどう畑。  
ここで収穫されたぶどうがワインに！

「わが村は美しくー北海道」運動第9回コンクール応募団体

## ワインを楽しむ会

### 【余市町】

余市産ぶどうを使用したワインで農家と消費者の交流

#### はじめは？

ワインを楽しむ会は、1993年から余市産ぶどうを使用したワインの普及・拡大を進めることを目的に、ワインぶどう栽培農家有志によってはじまり、今年で25回目を迎えました。

余市町では、醸造用ぶどうの生産は歴史があるものの、メーカーへの出荷が主のため知名度が低く、直接生産者と消費者が接する機会があまりありませんでした。

そんな中、消費者が余市産ぶどうを使用したワインを楽しむ会に参加することにより、地元のワインを直接手にとって味わい、その魅力を知り、農家と消費者が交流できる場となっています。

#### おもな活動

1993年から活動をはじめ、2018年2月で25回目を迎えました。2011年のワイン特区の認定も追い風となり、町内でのワイナリーの設立が相次ぎ、生産者やワインのラインナップも増え、毎年400名を超える参加者が訪れます。中には、毎年道外から訪れるリピーターもあり、満足度の高いイベントとなっています。今ではチケットの入手自体が困難なイベントです。



ウェルカムドリンクサービス



消費者と農家の交流

#### ここが自慢

##### 【ぶどう農家と消費者の交流】

ブランド化を目指している「余市産ぶどうを使用したワイン」を飲みながら、ぶどう栽培農家と消費者が交流を深めることができるため、年々イベントの参加者は増加しています。

地域の複数の団体が、ワインにとっても合う味付けの料理（鹿肉料理、余市産トマトを使ったトマト鍋等）を提供しており、ワインとのリアージュが楽しめます。会場への通路にはワインの空き瓶を活用したキャンドルの設置を行い、美しい道の演出をしています。



余市産トマトのトマト鍋

ワインを通して地域住民と連携し、地域活性化に役立つ交流イベントです。

#### 連絡先

代表者名：細山 正己さん／設立：1993年／会員：15名

住所：－

電話番号：－

F A X：－

E-mail：－

U R L：－

備考：0135-21-2123(後援 余市町役場農林水産課)



ニセコ町



札幌駅前通地下歩行空間(チカホ)で直売(上)  
カラフルポップコーン「グラスジェムコーン」(下)

「わが村は美しくー北海道」運動第9回コンクール応募団体

## ニセコ町農業青年会

### 【ニセコ町】

幅広い視野を持った農業者を目指して

#### はじめは？

ニセコ町農業青年会は、平成2年の設立から28年を迎え、20代から30代のニセコ町の農業者の担い手で構成しています。幅広い視野を持った優れた農業経営者になることを目標とし、先駆的作物栽培技術の学習、道内外の先進農家や農機メーカーへの視察研修等を行っています。

ゆくゆくはニセコ町の農業経営者となる会員なので、町内の若手が集まって話し合いをする場、積極的にチャレンジ活動をする場として活動を行っています。

#### おもな活動

本会で管理しているほ場で、試験的にひよこ豆、カラフルポップコーン等を栽培しています。管理しているほ場の中には、高齢で管理ができなくなった畑を借り受け栽培をしているところもあり、景観にも配慮しています。毎年、町のおひさま広場の子どもたちと保護者を対象ににんじんの収穫体験を行い、食育にも力を入れています。また、栽培した農作物は、直売所や札幌のイベント等で生産者の野菜作りの思いを伝えながら販売しています。



にんじん収穫体験



ひよこ豆

#### ここが自慢

##### 【チャレンジ精神！】

- 幼児と保護者を対象にして、毎年、にんじんの収穫体験の取組を行っています。
- 新規作物として、メロンをドライフルーツに加工し出荷したいと考えています。また、マフィン、アイス等への加工にも挑戦しています。
- サツマイモを栽培し、酒造会社の協力により、芋焼酎を限定販売しました。

若い担い手の農業者がチャレンジする場がニセコ町農業青年会です。



メロン (左)



メロンの果肉入りのマフィン (右)

#### 連絡先

代表者名：大道 竜司さん／設立：1990年／会員：11名

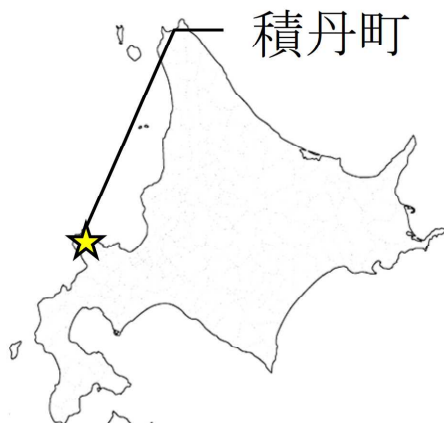
住所：虻田郡ニセコ町字富士見47番地

電話番号：0136-44-2121 (ニセコ町農政課)

F A X：0136-44-3500

E-mail：nousei@town.niseko.lg.jp

URL：-



積丹町



息を吹き返した明治後期に建てられた鯨伝習館（ヤマシメ番屋）

「わが村は美しくー北海道」運動第9回コンクール応募団体

## 積丹地域マリンビジョン協議会

### 【積丹町】

活力と賑わいのある地域を目指して！

#### はじまりは？

積丹地域の観光が持つポテンシャルと環境保全・文化伝承等の取組を踏まえ、漁港とその周辺において地域産業の連携・協働により雇用を創出し、活力と賑わいのある地域を目指して平成17年から活動しています。活動の柱は、①「地域活性化」積丹ブランドの形成と販売体制の強化、観光関連産業の推進。②「まちづくり」自然環境保全の推進や郷土の自然等に関する体験活動。③「水産業振興」海域環境の保全、蓄養機能の確保、地場消費の拡大、6次産業化の促進です。

#### おもな活動

- 「積丹ソーラン味覚祭り」は、H30年は3万人に迫る観光客が来場し、地場製品の消費拡大とともに都市・漁村の交流行事として定着しています。
- ニシン漁の拠点だった築100年以上の番屋を「鯨伝習館ヤマシメ番屋」として再生し、漁村文化の伝承・体験観光への活用の取組も推進しています。
- ダイバーと漁業者の協働体制での磯焼け対策、森林保全活動、地元の子供たちへの水産教育・水泳教室等に取り組んでいます。
- 重要な観光資源である「ウニ」の陸上蓄養の実証試験に取り組み、高品質なウニの安定供給と、提供期間の拡大等を目指しています。



ヤマシメ番屋の内部(左)



実証試験中のウニ(上)

#### ここが自慢

##### 【都市・漁村の交流】

- 「積丹ソーラン味覚祭り」は、H30年は3万人に迫る観光客が来場し、都市・漁村の交流事業として根付いています。今年で13回目を迎えるこのイベントを、楽しみにしている都市部からの観光客も大勢います。
- 「さくらます祭り」は、早春の漁業資源であるサクラマスを活用し、観光シーズンの長期化を目指すとともに、さくらます資源保護の取組とその重要性を伝えていきます。



積丹ソーラン味覚祭り

- 観光特産品づくりの推進のため、農林水産資源を活用したジン等のスピリッツ蒸留事業の取組も新たに開始しました。

#### 連絡先

代表者名：松井 秀紀町長／設立：2005年／  
会員：町内7経済団体等

住所：積丹郡積丹町大字美国町字船濶48番地5

電話番号：0135-44-3382（積丹町農林水産課）

F A X：0135-44-2125

E-mail：nourin@town.shakotan.lg.jp

URL：https://town-shakotan.com/